

野洲川 MIZBE ステーション設計業務のプロポーザル選定結果について

野洲川 MIZBE ステーション設計業務のため、公募型プロポーザル方式により、その契約の相手方となる優先交渉権者を下記のとおり決定しました。

記

1 業 務 名

野洲川 MIZBE ステーション設計業務

2 選定業者名

カイト・イーデザイン・ワイワ・アイス設計共同体（761.5／900 点満点）

3 参加提案業者の名称（申込順）

TSP 太陽・安部良アトリエ・Landscape Management・SESTA DESIGN 設計共同体

ADH+DM 設計共同体

有限会社設計室

カイト・イーデザイン・ワイワ・アイス設計共同体

野田建築設計事務所・新洲設計共同体

(株)緑景+KN000T(株)

PHa・日本工営都市空間・EAU 設計共同体

前田・矢野設計共同体

株式会社キノアーキテクツ

株式会社 bandesign

ISM・Marginalio・素地（グループ）

4 全提案者の評価点（得点順）

一次審査結果

順位	評価点	備考
1	4 6 3.3 5	二次審査進出
2	4 6 1.5 0	二次審査進出
3	4 5 1.0 0	二次審査進出
4	4 3 5.6 0	二次審査進出
5	4 3 5.0 0	
6	4 1 0.5 0	
7	3 6 7.3 0	
8	3 4 7.1 0	
9	3 3 3.5 0	
10	3 3 3.1 5	
11	3 2 6.2 5	

二次審査結果

順位	評価点
1	7 6 1.5 0
2	7 2 3.1 0
3	7 1 3.3 5
4	6 0 1.0 0

5 提案の審査結果

審査日	一次審査	令和8年7月23日	二次審査	令和8年7月30日
審査方法	11 者から企画提案書の提出があり、学識経験者、市職員の計6名で構成する「野洲川 MIZBE ステーション事業者選定委員会」において、一次審査では、評価基準に基づいて書類審査を行い、二次審査対象となる4者を選定した。 二次審査では、評価基準に基づいてプレゼンテーション審査を行い、一次審査の結果及びプレゼンテーション審査並びに質疑応答を総合的に評価のうえ、最高得点を得た提案事業者を優先交渉権者として決定した。			

講評	このたび実施した設計プロポーザルにおいては、各提案とも、本業務の目的である、野洲川の自然・水辺に親しみながら、体験と学びの場を創出するとともに、防災拠点及び交流拠点としての機能を一体的に整備するという趣旨を踏まえ、いずれも創意工夫に富んだ内容であった。 その中で、カイト・イーデザイン・ワイワ・アイス設計共同体の提案は、以下の点において高く評価された。 ● 河川空間の特性を踏まえた配置計画及び動線計画が適切であり、対象地の自然環境が有するポテンシャルを活かした魅力ある空間形成が期待できること。 ● 平常時には市民や来訪者の憩い及び学びの場、非常時には防災拠点として機能する計画となっており、本業務の目的に即した提案であったこと。 ● 施設の活用及び運営を見据えた柔軟な提案がなされており、平常時のにぎわい創出、地域の活性化及び交流促進に資する具体性を備えていること。 ● 河川協議への対応について十分な経験と理解が認められ、事業の実現性について期待が持てる内容であったこと。 ● 質疑応答においても、自らの考えを踏まえた的確な説明がなされ、提案内容に対する理解の深さ及び実現に向けた意欲が確認されたこと。 以上のことから、カイト・イーデザイン・ワイワ・アイス設計共同体の提案は、コンセプトの理解、河川空間の活用、運営の柔軟性及び実現性の各面において総合的に優れていると判断し、優先交渉権者として選定した。 (注) 本講評は、選定委員の評価を事務局において取りまとめたものである。
----	---

以上